



東京清掃労働組合
 千代田区飯田橋3-9-3
 TEL (3237) 9995
 1部20円

編集責任
 企画・総務局
 多田修一

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

特区連と共同で総決起集会を開催!!

安易な退職手当引下げ・制度改悪に反対し、総力を結集し最後まで闘おう!!

2月1日(木) 18時30分より、中野ZEROホールにて「2・1退職手当引下げ・制度改悪反対!特区連・東京清掃労働総決起集会」と題し、共同で開催しました。当日は降雪予報が出て足元も悪い中ではありますが、1080名もの組合員(わが組合は349名)が結集し、ともに闘う意思統一をしてきたところです。極めて短期間での闘いとなりますが、両組織の総力を結集し最後まで闘い抜きましょう。

総力を結集し最後まで闘おう!!

考えているのか問いたい。区長会は特別区の民間実態調査もせずに、単に国と比較するのは極めて不当だ。横並びにする必要などまったくない」と挨拶された。続いて、来賓の都労連西川委員長から、「先の賃金確定で都労連は一体となつて闘争し、継続交渉して提

た。決意表明では、特区連第5ブロック菊地議長、わが組合は第五地連星野議長が代表して、理不尽な区長会の提案に対し怒りのこもった熱い、最後の最後まで闘う決意がされました。シュプレヒコールは、わが組合の高木青年部長から、集会に結集した若手組合員を代表して、青年部長らに強化することを全員で意思統一し、要求実現に向け全力で取り組むことを確認しました。極めて短期間の取り組みとなりますが、特別区職員の総力を結集し最後の最後まで闘いぬきましょう。



(渡辺 歩)

自治労関東甲地連現業評が2018-2019現業総会・集会を開催!!

清掃労働者としての誇りを持って、採用に向け、新たな職域へ挑戦しよう!!

2日目の総会では、来年に予定している参議院議員選挙候補として自治労から推薦されている「岸まきこ」さんが激励の挨拶に駆け付けてくださり、自身の経験をもとに、「自治体現場には直営職員が必要なんだ」と熱く話されました。現状の業務に付加価値をつけ、新たな職域を拡大していく必要が清掃事業にはあります。また、「職の確立」により、現場職員の必要性を明確に示し、地域の環境保全と廃棄物行政発展のために新規採用の獲得が必要不可欠です。今回、学んだことを元に、各区で新規採用が獲得できるように、東京清掃としても運動展開をしていきます。

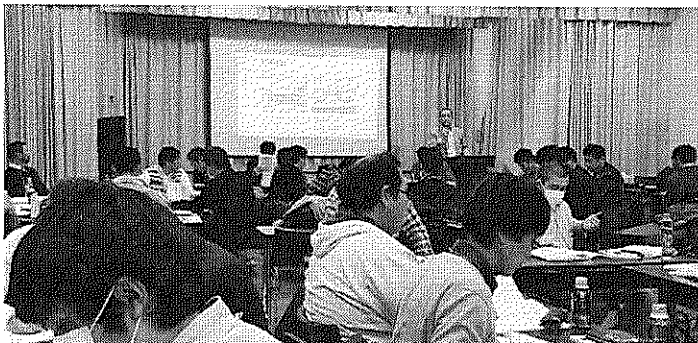


集会は特区連宇賀神副委... 区連吉川委員長から「国に

を言われる筋合いもない。また、役職が低いほど削減が大きいのはおかしい。特別区の主体性を持って自主的な決着を求める。また、わが組合の桐田委員長からは「自治体の主体性をどう



その後、特区連高木書記長より、退職手当見直しの提案内容を含め、この間の経過報告を丁寧に行っていた



▲清掃一組の現状報告をする、わが組合の中里副委員長



▲激励の挨拶をする自治労推薦、参議院議員選挙候補の「岸まきこ」さん

1月20日から21日にかけて、横浜市技能文化会館において、横浜一組の現状報告や、わが組合からは都本部清掃部会メンバーを中心に8名が参加して行われました。初日「付加価値」を参考に、清掃労働者として何が出来るのか、何をすべきなのかを小グループに分かれ議論し合いました。とりわけ、「新たな職域拡大・職の確立と職場の活性化の取組み」として、①ふれあい戸別収集や粗大ごみ持ち出しの対応②労働安全対策などを中心に各単組から報告をし合い、東京清掃としても今後の取組みに対し十分に参考となるグループ討論と

(渡辺 歩)

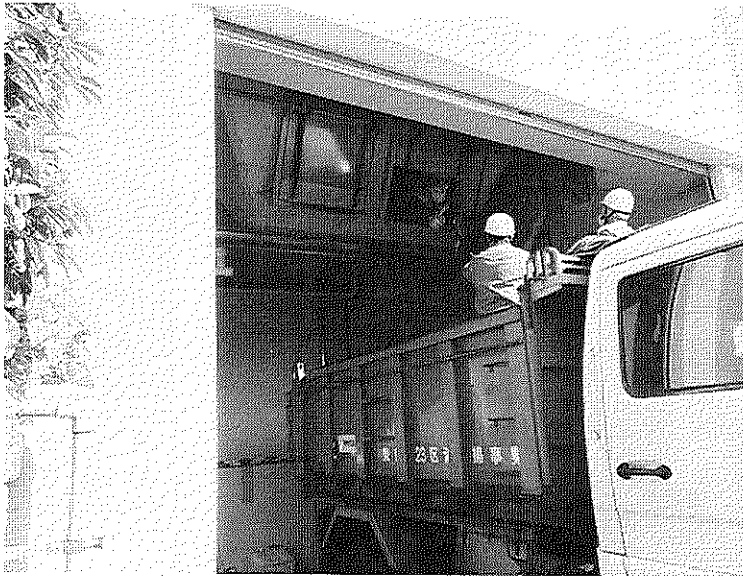
二度と痛ましい事故が起きないように、安全作業の追及を！

良質な公共サービスの追及には、区民や議員との連携・協力が必要不可欠だ!!

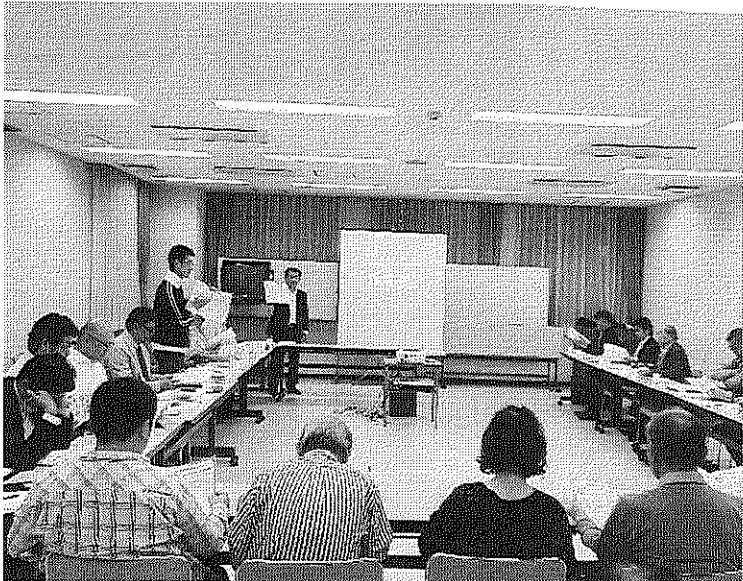
いま No.24

清掃事業は...

江東区



▲常に危険が伴うホッパー作業は反転コンテナへと要求



▲良質な公共サービスの追及には議員や区民との意見交換は必要不可欠

江東支部は、深川・城東両支部をなっていました。2007年に区内2006年に統合し、現在は統括技師長1名、技能長17名(内、現場技能長4名)、収集職員114名、運転職員13名、再任用職員15名(内、運転職員1名、本庁派遣1名)、庁舎管理職員1名の人員配置で清掃事業を執行しています。作業形態については、1〜3班(可燃)小プ5W17S・小特1S、4班(不燃)小特5W・軽小2台、5・6班(可燃)新大13台(内、車付6台)、ホッパ1班(可燃全て車付)大タ2台・小タ1台・小プ1台、軽小班可燃5台・サポート3台・蛍光灯等5台(車付)、ふれあい班です。能率については、可燃小プW3・4回・S5・7回・小特5・7回・新大4・5回・大タ5回・小タ5回・小プ4・3回、不燃小特3回となっています。統合時、江東区内は深川地区・城東地区でそれぞれ3分割の計6分割に

なりましたが、2007年に区内を除くホッパー作業は中止し、全域を統一して3分割し、可燃週2回・不燃週1回・資源週1回・容りするよう所側と協議を行っています。区移管以降、何度か新規採用を勝ち取ってききましたが、新規採用を勝ち取るにあたっては、幾度となく当局に対し、職員と車付の違いを訴え「職員でなければ」ということを理解させるとともに、上層部と積極的に意見交換を行ってききました。さらには、区民や議員との繋がりも大切に、その方々にも職員の重要性を訴え、議会の場でも発言して頂いてほしいです。私たちの賃金・労働条件は議会の場で決まります。私たちの生活と権利を守るため、良質な公共サービスとしての清掃事業を行って行くには、私たちの力だけではなく、区民や議員との連携・協力が必要不可欠だと思います。(江東区担当中央執行委員 田口 康乗)

「2018春闘期を中心とした当面の闘争方針」を確立

この間の取組みにより今期も数区で新規採用を勝ち取る!!

この勢いを止めることなく、運動の前進をはかろう!!

1月26日(金)、SKホールにて第3回中央委員会を開催し、「2018春闘期を中心とした当面の闘争方針」を満場一致で確認しました。昨年度は10区と一組で34名の新規採用を勝ち取り、今年度も数区で採用を勝ち取っています。この勢いを止めることなく運動の前進をはかるため、確立された闘争方針に基づき、全組合員の総力をあげて取組みましょう。

「2018年度春闘期を 予算編成スケジュールに遅中心とした当面の闘争方 れることなく進めること、針」は、民間の春闘に連帯 として次年度へ向けしっか し、成果を我々の秋季賃金 りと総括を行い、闘いに繋 確定闘争に繋げることがも げることを具体的に方 ちろんのこと、この間低下 針化しています。総括のな していた各区交渉事項の共 い方針はありません。今年 有化や統一的な闘い方につ も3月9日までは各区で いても取組みを提起してい 総括を行い、その後開催 ます。また、第85回大会か 予定の各地連討論集会以 下各区・一組担当中央執行 有化し、2018年度の闘 委員は交渉に専念する体制 いに活かしましょう。

そして、世界を巡る動き、 算・人員要求闘争を当局の 国が目論む働き方改革をは じめとする労働 法制の破壊、自 治体職場におけ る現業職員の役 割、沖縄の歴史 と新基地建設反 対の闘いなど、 自治体サービス の産業化、労働 者と家族の生き る権利さえも奪 おうとする安倍 政権との闘いを 強化するため、 今年も春闘連統 講座を開催し、



▲今年1月29日に開催した指宿弁護士による春闘労働講座

◇「2018春闘期を中心とした当面の闘争方針」に基づく当面の日程

- 各地連春闘討論集会 (3月中から順に開催予定)
- 春闘連続講座 (演題は全て仮)
 - ① 1月29日(月)「労働法制改正の問題点と今後の取組み」 済指宿 昭一 弁護士
 - ② 2月26日(月)「自治体職場における現業職員の役割(仮)」 小迫 敏宏 自治労中央本部現業局長
 - ③ 3月7日(水)「沖縄の歴史と新基地建設反対の闘い(仮)」 新垣 毅 琉球新聞社記者
- 新入組合員歓迎学習交流集会 4月下旬
- 第43回組織集会 5月27日(日)~28日(月)
- 第55年次自治研集会 9月予定

(渡辺 歩)